

年 組 名前：

人工ダイヤ 県内初工場

甲府・マノエ新設

ラボグロウンダイヤモンドを扱う新工場
|| 甲府市朝氣1丁目



自社で加工、全国展開へ

宝石・貴金属の製造販売を手がけるマノエ（甲府市朝氣2丁目、小林弘文社長）は、人工宝石「ラボグロウンダイヤモンド」を加工する工場を開設した。ネックレスなどに加工し、県内外の宝石店などに展開する。当社によると、県内でラボグロウンダイヤモンドの工場が開設されるのは初めて。

〈山本昂輝〉

同社によると、ラボグロウンダイヤモンドは、天然石と同じ成分・組成でありながら研究所などで人工的に作られた宝石。天然石に比べて安価に仕入れられることに加え、輝きや硬度なども遜色がない。天然石のように採掘する必要がないため、環境を壊さずSDGs（持続可能な開発目標）にも配慮していると海外で注目されているという。

新工場は本社から500メートル西の以前金具店だった建物を改装して整備。鉄骨2階建てで、延べ床面積は約70平方メートル。レーザー溶接機やラボグロウンダイヤモンドの検査機などを備える。ネックレスのほか、リングやピアスなどに加工して販売する。輝きや硬度などの検査結果は要望があれば書面で渡す。

同社は新型コロナウイルス禍でジュエリーの販売量が落ち込み、売り上げが減少。県内でラボグロウンダイヤモンドを扱っている業者は少なく、多くの取引が期待できると考えて工場を開設した。事業再構築補助金を利用して、

(2023年2月21日付 山梨日日新聞7面)

問1

人工宝石「ラボグロウンダイヤモンド」は、天然石と比較し、SDGsの観点から、何が良いのですか。

.....

問2

宝石・貴金属の製造販売会社は、ジュエリーの販売が落ち込み、売り上げ減少する対策として、どのような考えで、何を利用しましたか。

・考え：

・利用：

問3

今後、同社は、何を予定ですか。

.....